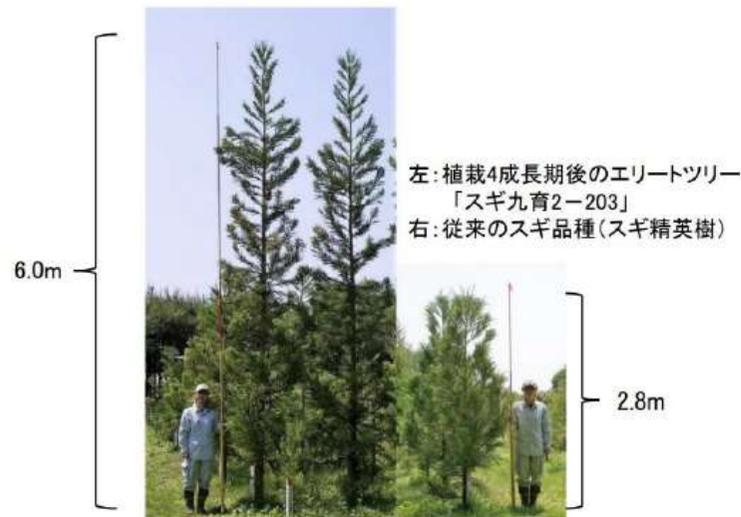
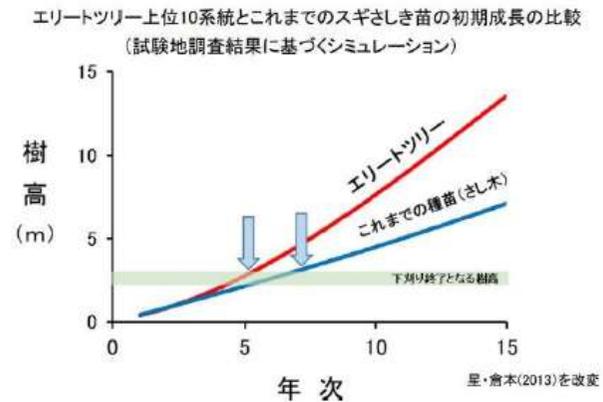


エリートツリー研究開発事業（R5年度～）

県内の無花粉スギから、特に成長に優れた品種を本県独自のエリートツリーとして選抜し、「炭素固定」と「花粉発生源対策」の双方の効果を発揮する品種の開発を図る。



九州地区におけるエリートツリーと従来品種との成長の違い



エリートツリーと従来品種との初期成長の比較 (シミュレーション)

※画像出典：シンポジウム「早生樹・エリートツリーの現状と未来～その可能性と課題を探る～」から「エリートツリーの開発・普及」 倉本哲嗣氏 講演資料 (2019. 3. 4)

【進捗と今後】

21本の候補木を選抜済。今後は、多様性に配慮し、遺伝子に偏りが出ないように選抜するとともに、木材利用に支障がないかを確かめるために材質等の調査を実施。採穂園を整備。